

お茶の水女子大学附属幼稚園・小学校・中学校・高等学校が共通にめざしているもの

お茶の水女子大学附属幼稚園・小学校・中学校・高等学校（附属学校園）には、次の「教育の柱」「研究の柱」があり、それにしたがって入学選考、入学検定が行われることになっています。

附属学校園の「教育の柱」は、「自主的にものごとに取り組み、自分の考えを持ち、他者との協力関係をきずくことのできる幼児・児童・生徒の育成」です。「研究の柱」は、「乳幼児期から青年期までの教育を人間発達の視点からとらえてカリキュラム開発を行い、各校園の連携のもとに実践・研究をすすめ、その教育効果を評価すること」です。

附属学校園は、上記の考えをもとに、新しい研究的な教育実践に柔軟に対応する姿勢を有する幼児・児童・生徒を受け入れます。

本校を志望される保護者の皆様へ

本校の使命と性格

本校は、小学校教育の理論及び実際に関する実践的研究を行う学校です。

本校は、大学附設の教育機関として、大学と協力して小学校教育の理論及び実際に関する実験的研究を行い、わが国の小学校教育の進歩・向上のために貢献する使命をもっています。

このため、日々実践研究を積み重ね、毎年「教育実際指導研究会」を開いて、全国からの多くの先生方に授業を公開しています。現在、文部科学省の研究開発学校の指定を受け、新しいカリキュラム開発などの研究に取り組んでいます。

このような性格をもった学校であるため、以下のような諸点で公立学校等と異なります。

- ① 研究校としての使命を果たすため、先進的な研究主題を掲げ、その実証研究のために、カリキュラム、教育内容、方法を開発し、柔軟に学習指導を行います。
「なかま・みがく」「てつがく創造活動」などの総合的な学習の時間に、さまざまな校外学習、体験的な活動を行います。
- ② 大学の附属研究学校として、長期研修生、教育実習生やインターンシップの学生などの受け入れをしています。
- ③ 大学の附属研究学校として、一年間を通し、国内外からの多数の教員が参観に来校したり、大学の研究の場となったりします。また、研究のための調査協力を保護者の方々にもお願いしています（児童や保護者のプライバシーや情報の保護については大学とも連携し、細心の注意をしています）。

2024(令和5)年度入学児童 学校説明会 Q&A

1 出願について

Q: 募集要項にある保護者について教えてください。

A: 保護者は、児童の父・母です。検定ですので、児童のご両親どちらかにおいていただきます。特段の事情がある場合は、お問い合わせください。

Q: 出願に関する要件の「居住地が23区内」というのは、出願時か入学時か、どの時点になりますか。また、出願後に転居する場合は、どうすればよいでしょうか。

A: 出願時に23区内に居住していることが条件です。

なお、出願後に、23区内で転居の予定がある場合は、検定の際に居住地等を確認させていただくことがありますので、その旨お伝えください。

Q: 現在仮住まいをしている場合は、どうすればよいでしょうか。

A: 出願時に取り寄せられる住民票を提出し、検定の際に居住地等を確認する機会にお伝えください。

Q: 説明に「パスワードの共有が発覚したら失格」とありましたが、どういう場合はだめなのでしょう。また、父母間での共有はよいのでしょうか。

A: パスワードは、募集要項のダウンロード時と合格発表を見る際に必要です。従って、家族で共有するのは問題ありませんが、申し込みをしていない人、検定を受けていない人に知らせないでください。

2 検定について

(1) 第一次検定について

Q: 一次検定の立会希望者は、どのような手続きが必要ですか。

A: ミライコンパスで申し込みの際に、希望の有無を尋ねる欄があるので、そこで選択してください。

(2) 第二次検定について

Q: 子どもが双子の場合、書類の保護者の欄や二次検定の付き添いはどのようにすればよいでしょうか。

A: 出願にあたっては、それぞれ区別することなく保護者の方の名前を書いてください。

検定では、児童1人につき保護者1人が付き添ってください。

Q: 二次検定の付き添いは父母のどちらか、または両方など、決まりがありますか。

A: 検定児童1名につき1人の保護者の付き添いをお願いします。

Q: 検定時は、どのような服装で参加すればよろしいでしょうか。

A: 特に取り決めはありません。動きやすい服装であれば、どのようなものでも構わないのでご家庭で判断してください。

(3) 抽せんについて

Q: 第一次検定と第三次検定の抽せんはどのような形で行うのですか。

A: 詳細はお伝えできませんが、第一次検定の抽せんは学校側で実施しますが、ご希望の方は立ち会って見ていただくことができます。第三次検定の抽せんは全員参加となります。

3 本校の研究・教育課程について

(1) 研究について

Q: てつがく創造活動について、具体的にどんな活動や話し合いがあるのか教えてください。

A: 例えば、「映画や動画を作ろう」「～の実験をしよう」「船を作って浮かべよう」「〇〇を捕まえて飼ってみよう」などのプロジェクトが、学年に関わらず立ち上がっています。低学年だから、高学年だからこのテーマというのではなく、成長する過程で何度も同じテーマに挑戦していくなかで、活動の目的意識が変化していきます。例えば、「捕まえた魚を飼おうプロジェクト」は、廊下に水族館スペースをつくったり、畑に池をつくったりしながら、現在は「畑の環境を変えようプロジェクト」として活動しています。てつがく対話では、「友達とは」「家族とは」「嘘とは」など、子どもの生活に関わる哲学的なテーマに加え、「協力するとは」「チームとは」「リーダーとは」など、プロジェクト活動に即してよく出てくるテーマもあります。対話自体も、成長やプロジェクト活動などの経験を通して質が高まっていくのが、このてつがく創造活動の特徴といえます。

Q: 非認知の学びを研究のテーマとされていますが、認知領域と非認知領域の区分をどのように捉えて研究されているのですか。

A: 非認知的な能力をとりたてて区別し、例えば「メタ認知」をそれだけで育成するのは難しいと考えています。非認知と認知を織り交ぜながら、生活に即して意識化していくことで、子どもたちの学びの習慣を少しずつ変化させていくという立場で研究しています。

(2) 教育課程について

Q: タブレットでオンライン授業をしている学校が多くなっていますが、こちらではそのような対応はありますか。

A: タブレットは、1年生から必要に応じて学校内の学習で使用しています。オンラインの授業については、平常時は行っていません。

4 学校生活について

(1) 進路等について

Q: 幼稚園から大学までの一貫教育という点で、現実的には内部進学できるのは、男児は中学校までで高校からは女子のみだと思うのですが、共通している理念・教育方針はあるのでしょうか。

A: 幼小中と、男女関係なく子ども一人ひとりの思いを大切にして成長を見ていくという点は、一貫しています。確かに男児は中学校までですが、そもそも社会で活躍する女子の育成を目的とした女子大

学ですので、高校から女子のみなのは、創立当初から変わっていません。一人ひとりの自主性を大切にしている点は、共通しています。

Q: 附属中学校への進学が5~6割ということですが、家庭では文部科学省の指導要領に沿って勉強をすればよいのでしょうか。どのような学習が必要になるのか教えてください。

A: 何よりもまず大事にしてほしいのは、日常の学校生活です。普段の学校での学習や生活を大切につくっていくことが、後々の進学の土台になっていきます。

Q: 附属中学校への進学について、基準はありますか。試験以外に通知票など関係するのでしょうか。

A: 連絡進学という制度で、入学試験だけではなく、小学校での生活の様子も中学校に伝えた上で、中学校が判断します。中学校への進学については、入学後にお伝えします。

(2) 保護者の参加等について

Q: 動画で、低学年の学習について保護者の協力とありましたが、どのような形で協力するのでしょうか。

A: 実際に学習に参加していただき、子どもたちの学びのサポートをしてもらう機会を設けています。また、校外学習の引率補助をお願いする機会もあります。

Q: 1年生の保護者の送迎は必要ですか。

A: 入学後しばらくの期間は送迎をお願いしています。特に期間は定めていませんが、登下校に慣れて1人で安心して通学できるまでお願いしています。

Q: 保護者が学校に出向く機会が多いとのことですが、共働きのご家庭もいますか。

A: 実際に入学しているご家庭の中にも共働きの方は多数います。ただし、学校にご協力いただく場面が様々あること、お子さんの具合が悪くなった場合はお迎えをお願いすることなどありますので、共働きの場合でも、対応できるというご家庭にご応募いただければと思います。

5 就学時健康診断について

Q: 就学時健康診断は受けなくてもよいですか？

A: 就学時健康診断とは、学校保健安全法にもとづき、翌年4月に小学校に入学する未就学児を対象に市区町村が実施する健康診断です。

- ・ 小学校入学にあたり、子どもの健康について保護者と本人が関心を深めること
- ・ 健康診断で病気などが見つかった場合は、入学までに必要な治療を施し、健康な心身の状態で入学するよう努めること

などを目的に行なわれます。お住まいの自治体の教育委員会から通知が郵送され、一般的に10~11月に実施されますので、受診してください。

結果(就学時健康診断票)の提出については、入学候補児童保護者説明会にてご説明いたします。